

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	厚木市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	大和市	市立病院	21
-	がんセンター	4			
-	循環器呼吸器病センター	5			
-	こども医療センター	6			
横浜市	市民病院	7			
横浜市	みなと赤十字病院	8			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	9			
川崎市	川崎病院	10			
川崎市	井田病院	11			
川崎市	多摩病院	12			
横須賀市	市民病院	13			
横須賀市	うわまち病院	14			
平塚市	平塚市民病院	15			
藤沢市	藤沢市民病院	16			
小田原市	市立病院	17			
茅ヶ崎市	市立病院	18			
三浦市	市立病院	19			

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	足柄上病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,975,523,260
標準財政規模(千円)	1,408,199,595
財政力指数	0.85330
経常収支比率(%)	88.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	81.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	63,255			
1 経常収益	63,255			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	63,255			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	63,255			
2 経常費用	63,255			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	63,255			
(うち支払利息)	63,255	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	3,405,254			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	汐見台病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,975,523,260
標準財政規模(千円)	1,408,199,595
財政力指数	0.85330
経常収支比率(%)	88.6
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	236			
1 経常収益	236			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	236			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	236			
2 経常費用	236			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	236			
(うち支払利息)	236	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	がんセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,975,523,260
標準財政規模(千円)	1,408,199,595
財政力指数	0.85330
経常収支比率(%)	88.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	81.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,503			
1 経常収益	1,503			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,503			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,503			
2 経常費用	1,503			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,503			
(うち支払利息)	1,503	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,882			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	循環器呼吸器病センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,975,523,260
標準財政規模(千円)	1,408,199,595
財政力指数	0.85330
経常収支比率(%)	88.6
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	81.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,588			
1 経常収益	42,588			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	42,588			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,588			
2 経常費用	42,588			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,588			
(うち支払利息)	42,588	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	1,255,065			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名		こども医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,975,523,260
標準財政規模(千円)	1,408,199,595
財政力指数	0.85330
経常収支比率(%)	88.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	81.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	130,702			
1 経常収益	130,702			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	130,702			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	130,702			
2 経常費用	130,702			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	130,702			
(うち支払利息)	130,702	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	5,931,331			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,612 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	624	84.6	82.5	88.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	69.4	-	-
計	650	84.0	79.2	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.7	11.0

設立団体の状況	
人口(人)	3,777,491
決算規模(千円)	2,202,642,428
標準財政規模(千円)	999,814,703
財政力指数	0.96
経常収支比率(%)	95.1
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.6
将来負担比率(%)	129.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	33,839,413			
1 経常収益	31,461,260			
(1) 医業収益	26,862,636			
(うち修正医業収益)	26,650,574			
入院収益	17,453,299			
外来収益	8,470,763			
診療収入計	25,924,062			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	938,574			
(うち他会計負担金)	212,062			
(2) 医業外収益	4,598,624			
(うち国・都道府県補助金)	2,038,197			
(うち他会計補助・負担金)	843,038			
(うち長期前受金戻入)	1,011,300			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,378,153			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	36,433,551			
2 経常費用	29,589,049			
(1) 医業費用	28,116,526			
職員給与費	12,418,115	46.2	60.2	54.0
材料費	8,276,708	30.8	25.3	29.9
(うち薬品費)	5,113,694	19.0	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,043,882	11.3	11.6	13.4
減価償却費	2,429,899	9.0	9.0	8.1
経費	4,930,320	18.4	22.5	19.6
(うち委託料)	2,374,577	8.8	12.5	12.7
研究研修費	53,344			
資産減耗費	8,140			
(2) 医業外費用	1,472,523			
(うち支払利息)	150,658	0.6	1.2	1.0
(3) 特別損失	6,844,502			
経常損益	1,872,211			
純損益	-2,594,138			
累積欠損金	8,658,731			
経常収支比率	106.3		105.6	105.8
医業収支比率	95.5		85.1	89.1
修正医業収支比率	94.8		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.4		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	3.1		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	102.8		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,509,070
1 固定資産	82,573,532
(1) 有形固定資産	78,831,694
(2) 無形固定資産	893,807
(3) 投資その他の資産	2,848,031
2 流動資産	19,935,538
(1) 現金及び預金	3,386,037
(2) 未収金及び未収収益	8,178,458
(3) 貸倒引当金()	15,653
(4) 貯蔵品	291,609
3 繰延資産	-
負債合計	100,656,117
1 固定負債	74,947,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,978,108
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,969,072
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	19,207,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,104,449
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,207,204
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,677,712
(9) 前受金及び前受収益	1,516
3 繰延収益	6,501,316
(1) 長期前受金	24,369,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,867,818
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,852,953
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-35,664,119
(1) 資本金剰余金	9,066,212
(2) 利益剰余金	-44,730,331
負債・資本合計	102,509,070
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,055,100	1,055,100
資本勘定繰入	927,499	927,499
計	1,982,599	1,982,599

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		みなと赤十字病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	74,148 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	584	71.2	75.4	83.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	54.7	50.6	55.5
感染症	-	-	-	-
計	634	69.9	73.4	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.5	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,202,642,428	
標準財政規模(千円)	999,814,703	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	129.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,757,156			
1 経常収益	4,757,156			
(1) 医業収益	53,957			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,957			
(うち他会計負担金)	53,957			
(2) 医業外収益	4,703,199			
(うち国・都道府県補助金)	2,903,258			
(うち他会計補助・負担金)	565,095			
(うち長期前受金戻入)	386,427			
(うち資本費繰入収益)	225,121			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,287,367			
2 経常費用	4,286,607			
(1) 医業費用	3,818,765			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	583,531	1081.5	9.0	8.1
経費	3,234,222	5994.1	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	1,012			
(2) 医業外費用	467,842			
(うち支払利息)	466,187	864.0	1.2	1.0
(3) 特別損失	760			
経常損益	470,549			
純損益	469,789			
累積欠損金	11,726,811			
経常収支比率	111.0		105.6	105.8
医業収支比率	1.4		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	1147.3		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	13.0		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	96.5		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,509,070
1 固定資産	82,573,532
(1) 有形固定資産	78,831,694
(2) 無形固定資産	893,807
(3) 投資その他の資産	2,848,031
2 流動資産	19,935,538
(1) 現金及び預金	3,386,037
(2) 未収金及び未収収益	8,178,458
(3) 貸倒引当金()	15,653
(4) 貯蔵品	291,609
3 繰延資産	-
負債合計	100,656,117
1 固定負債	74,947,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,978,108
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,969,072
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	19,207,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,104,449
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,207,204
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,677,712
(9) 前受金及び前受収益	1,516
3 繰延収益	6,501,316
(1) 長期前受金	24,369,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,867,818
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,852,953
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-35,664,119
(1) 資本剰余金	9,066,212
(2) 利益剰余金	-44,730,331
負債・資本合計	102,509,070
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	614,275	619,052
資本勘定繰入	1,336,606	1,561,727
計	1,950,881	2,180,779

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		脳卒中・神経脊椎センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	300	78.8	75.1	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	78.8	75.1	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		30.2	33.1	32.9

設立団体の状況	
人口(人)	3,777,491
決算規模(千円)	2,202,642,428
標準財政規模(千円)	999,814,703
財政力指数	0.96
経常収支比率(%)	95.1
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.6
将来負担比率(%)	129.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,394,290			
1 経常収益	9,378,395			
(1) 医業収益	5,913,118			
(うち修正医業収益)	5,823,074			
入院収益	5,260,245			
外来収益	508,039			
診療収入計	5,768,284			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	144,834			
(うち他会計負担金)	90,044			
(2) 医業外収益	3,465,277			
(うち国・都道府県補助金)	804,563			
(うち他会計補助・負担金)	1,923,311			
(うち長期前受金戻入)	417,038			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,895			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,507,269			
2 経常費用	8,486,167			
(1) 医業費用	8,029,745			
職員給与費	4,183,597	70.8	60.2	60.7
材料費	1,175,581	19.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	206,329	3.5	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	872,474	14.8	11.6	11.7
減価償却費	691,950	11.7	9.0	9.2
経費	1,954,462	33.1	22.5	21.2
(うち委託料)	951,803	16.1	12.5	11.9
研究研修費	13,729			
資産減耗費	10,426			
(2) 医業外費用	456,422			
(うち支払利息)	184,537	3.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	21,102			
損益	892,228			
純損益	887,021			
累積欠損金	24,344,789			
経常収支比率	110.5		105.6	106.9
医業収支比率	73.6		85.1	85.8
修正医業収支比率	72.5		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	21.4		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	86.8		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,509,070
1 固定資産	82,573,532
(1) 有形固定資産	78,831,694
(2) 無形固定資産	893,807
(3) 投資その他の資産	2,848,031
2 流動資産	19,935,538
(1) 現金及び預金	3,386,037
(2) 未収金及び未収収益	8,178,458
(3) 貸倒引当金()	15,653
(4) 貯蔵品	291,609
3 繰延資産	-
負債合計	100,656,117
1 固定負債	74,947,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,978,108
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,969,072
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	19,207,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,104,449
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,207,204
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,677,712
(9) 前受金及び前受収益	1,516
3 繰延収益	6,501,316
(1) 長期前受金	24,369,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,867,818
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,852,953
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-35,664,119
(1) 資本剰余金	9,066,212
(2) 利益剰余金	-44,730,331
負債・資本合計	102,509,070
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,013,355	2,013,355
資本勘定繰入	990,970	990,970
計	3,004,325	3,004,325

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		川崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,902 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	663	63.6	60.6	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	42.5	44.3	42.8
感染症	12	41.9	53.8	4.6
計	713	62.1	59.6	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.2	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	786,995,809	
標準財政規模(千円)	380,864,071	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	123.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,983,573			
1 経常収益	22,423,084			
(1) 医業収益	19,071,791			
(うち修正医業収益)	17,937,707			
入院収益	12,436,828			
外来収益	5,250,556			
診療収入計	17,687,384			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,384,407			
(うち他会計負担金)	1,134,084			
(2) 医業外収益	3,351,293			
(うち国・都道府県補助金)	409,468			
(うち他会計補助・負担金)	2,170,451			
(うち長期前受金戻入)	390,483			
(うち資本費繰入収益)	193,192			
(3) 特別利益	3,560,489			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,128,296			
2 経常費用	21,970,693			
(1) 医業費用	20,903,346			
職員給与費	10,530,248	55.2	60.2	54.0
材料費	5,111,683	26.8	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,910,442	15.3	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,088,195	10.9	11.6	13.4
減価償却費	1,096,412	5.7	9.0	8.1
経費	4,012,709	21.0	22.5	19.6
(うち委託料)	2,569,851	13.5	12.5	12.7
研究研修費	50,945			
資産減耗費	101,349			
(2) 医業外費用	1,067,347			
(うち支払利息)	220,400	1.2	1.2	1.0
(3) 特別損失	157,603			
損益	3,855,277			
純損益	3,855,277			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		105.6	105.8
医業収支比率	91.2		85.1	89.1
修正医業収支比率	85.8		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	12.7		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	87.0		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	59,453,578
1 固定資産	44,931,147
(1) 有形固定資産	44,929,233
(2) 無形固定資産	1,914
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	14,522,431
(1) 現金及び預金	7,140,120
(2) 未収金及び未収収益	7,250,369
(3) 貸倒引当金()	64,435
(4) 貯蔵品	195,629
3 繰延資産	-
負債合計	58,351,744
1 固定負債	46,872,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,935,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,796,253
(7) 一ス債務	141,091
2 流動負債	10,020,810
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,768,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	990,285
(6) リ一ス債務	60,731
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,016,235
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,458,448
(1) 長期前受金	18,074,735
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,616,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,101,834
1 資本	15,825,753
2 剰余金	-14,723,919
(1) 資本剰余金	2,135,827
(2) 利益剰余金	-16,859,746
負債・資本合計	59,453,578
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,304,006	3,304,535
資本勘定繰入	1,252,407	1,252,407
計	4,556,413	4,556,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		井田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	343	61.2	73.8	84.6
療養	-	-	-	-
結核	40	-	1.1	43.2
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	54.8	66.2	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	16.1	16.0

設立団体の状況	
人口(人)	1,538,262
決算規模(千円)	786,995,809
標準財政規模(千円)	380,864,071
財政力指数	1.02
経常収支比率(%)	97.4
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.5
将来負担比率(%)	123.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,056,520			
1 経常収益	9,218,234			
(1) 医業収益	7,122,045			
(うち修正医業収益)	6,768,930			
入院収益	4,130,217			
外来収益	2,508,330			
診療収入計	6,638,547			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	483,498			
(うち他会計負担金)	353,115			
(2) 医業外収益	2,096,189			
(うち国・都道府県補助金)	385,516			
(うち他会計補助・負担金)	1,292,758			
(うち長期前受金戻入)	283,343			
(うち資本費繰入収益)	63,807			
(3) 特別利益	2,838,286			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,791,473			
2 経常費用	10,684,374			
(1) 医業費用	10,123,001			
職員給与費	5,523,837	77.6	60.2	60.7
材料費	1,728,610	24.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	989,053	13.9	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	689,986	9.7	11.6	11.7
減価償却費	829,436	11.6	9.0	9.2
経費	1,949,353	27.4	22.5	21.2
(うち委託料)	1,183,432	16.6	12.5	11.9
研究研修費	19,284			
資産減耗費	72,481			
(2) 医業外費用	561,373			
(うち支払利息)	222,795	3.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	107,099			
損益	-1,466,140			
純損益	1,265,047			
累積欠損金	17,094,298			
経常収支比率	86.3		105.6	106.9
医業収支比率	70.4		85.1	85.8
修正医業収支比率	66.9		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	13.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	70.9		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	59,453,578
1 固定資産	44,931,147
(1) 有形固定資産	44,929,233
(2) 無形固定資産	1,914
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	14,522,431
(1) 現金及び預金	7,140,120
(2) 未収金及び未収収益	7,250,369
(3) 貸倒引当金()	64,435
(4) 貯蔵品	195,629
3 繰延資産	-
負債合計	58,351,744
1 固定負債	46,872,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,935,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,796,253
(7) 一ス債務	141,091
2 流動負債	10,020,810
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,768,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	990,285
(6) リ一ス債務	60,731
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,016,235
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,458,448
(1) 長期前受金	18,074,735
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,616,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,101,834
1 資本	15,825,753
2 剰余金	-14,723,919
(1) 資本剰余金	2,135,827
(2) 利益剰余金	-16,859,746
負債・資本合計	59,453,578
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,645,825	1,645,873
資本勘定繰入	337,709	337,709
計	1,983,534	1,983,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		多摩病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	376	62.3	62.5	83.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	62.3	62.5	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.7	10.6

設立団体の状況	
人口(人)	1,538,262
決算規模(千円)	786,995,809
標準財政規模(千円)	380,864,071
財政力指数	1.02
経常収支比率(%)	97.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.5
将来負担比率(%)	123.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,987,020			
1 経常収益	1,886,863			
(1) 医業収益	1,002,207			
(うち修正医業収益)	678,684			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,002,207			
(うち他会計負担金)	323,523			
(2) 医業外収益	884,656			
(うち国・都道府県補助金)	2,024			
(うち他会計補助・負担金)	419,455			
(うち長期前受金戻入)	463,087			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,157			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,692,196			
2 経常費用	1,680,241			
(1) 医業費用	1,401,253			
職員給与費	24,099	2.4	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	698,184	69.7	9.0	9.2
経費	656,823	65.5	22.5	21.2
(うち委託料)	19,897	2.0	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	22,147			
(2) 医業外費用	278,988			
(うち支払利息)	278,988	27.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	11,955			
損益	206,622			
純損益	294,824			
累積欠損金	2,662,459			
経常収支比率	112.3		105.6	106.9
医業収支比率	71.5		85.1	85.8
修正医業収支比率	48.4		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.4		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	74.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	37.4		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	68.1		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	59,453,578
1 固定資産	44,931,147
(1) 有形固定資産	44,929,233
(2) 無形固定資産	1,914
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	14,522,431
(1) 現金及び預金	7,140,120
(2) 未収金及び未収収益	7,250,369
(3) 貸倒引当金()	64,435
(4) 貯蔵品	195,629
3 繰延資産	-
負債合計	58,351,744
1 固定負債	46,872,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,935,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,796,253
(7) 一ス債務	141,091
2 流動負債	10,020,810
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,768,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	990,285
(6) リ一ス債務	60,731
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,016,235
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,458,448
(1) 長期前受金	18,074,735
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,616,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,101,834
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-14,723,919
(1) 資本剰余金	2,135,827
(2) 利益剰余金	-16,859,746
負債・資本合計	59,453,578
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	742,978	742,978
資本勘定繰入	676,508	676,508
計	1,419,486	1,419,486

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横須賀市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,943 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	476	41.3	45.5	52.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	8.2
計	482	40.8	44.9	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	14.1	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	174,751,661	
標準財政規模(千円)	87,944,330	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	22.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,297,050			
1 経常収益	3,297,050			
(1) 医業収益	413,409			
(うち修正医業収益)	14,409			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	413,409			
(うち他会計負担金)	399,000			
(2) 医業外収益	2,883,641			
(うち国・都道府県補助金)	2,517,634			
(うち他会計補助・負担金)	221,000			
(うち長期前受金戻入)	25,569			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,237,028			
2 経常費用	3,232,982			
(1) 医業費用	3,203,423			
職員給与費	24,966	6.0	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	541,265	130.9	9.0	8.1
経費	2,633,557	637.0	22.5	19.1
(うち委託料)	19,852	4.8	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	3,635			
(2) 医業外費用	29,559			
(うち支払利息)	16,565	4.0	1.2	1.1
(3) 特別損失	4,046			
損益	64,068			
純損益	60,022			
累積欠損金	7,664,216			
経常収支比率	102.0		105.6	105.7
医業収支比率	12.9		85.1	88.4
修正医業収支比率	0.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	150.0		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	18.8		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	82.8		93.6	95.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,362,780
1 固定資産	11,440,136
(1) 有形固定資産	11,436,455
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,922,644
(1) 現金及び預金	4,292,234
(2) 未収金及び未収収益	2,599,239
(3) 貸倒引当金()	4,144
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,887,647
1 固定負債	3,319,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,284,796
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	34,582
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,831,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	455,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,225
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,364,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	736,286
(1) 長期前受金	2,078,061
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,341,775
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,475,133
1 資本金	12,765,956
2 剰余金	-2,290,823
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,352,450
負債・資本合計	18,362,780
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	699,438	620,000
資本勘定繰入	209,761	-
計	909,199	620,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	929.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横須賀市			
病院名		うわまち病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,514 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	367	70.9	67.1	80.4
療養	50	33.0	56.6	85.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	66.3	65.8	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	13.2	11.2

設立団体の状況	
人口(人)	388,078
決算規模(千円)	174,751,661
標準財政規模(千円)	87,944,330
財政力指数	0.79
経常収支比率(%)	95.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	5.9
将来負担比率(%)	22.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,303,680			
1 経常収益	3,303,680			
(1) 医業収益	270,086			
(うち修正医業収益)	17,086			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	270,086			
(うち他会計負担金)	253,000			
(2) 医業外収益	3,033,594			
(うち国・都道府県補助金)	2,699,039			
(うち他会計補助・負担金)	128,000			
(うち長期前受金戻入)	42,084			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,248,603			
2 経常費用	3,242,164			
(1) 医業費用	3,222,527			
職員給与費	24,966	9.2	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	356,108	131.8	9.0	8.1
経費	2,840,164	1051.6	22.5	19.1
(うち委託料)	22,402	8.3	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	1,289			
(2) 医業外費用	19,637			
(うち支払利息)	15,132	5.6	1.2	1.1
(3) 特別損失	6,439			
損益	61,516			
純損益	55,077			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.9		105.6	105.7
医業収支比率	8.4		85.1	88.4
修正医業収支比率	0.5		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	141.1		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	90.1		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,362,780
1 固定資産	11,440,136
(1) 有形固定資産	11,436,455
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,922,644
(1) 現金及び預金	4,292,234
(2) 未収金及び未収収益	2,599,239
(3) 貸倒引当金()	4,144
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,887,647
1 固定負債	3,319,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,284,796
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	34,582
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,831,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	455,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,225
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,364,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	736,286
(1) 長期前受金	2,078,061
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,341,775
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,475,133
1 資本金	12,765,956
2 剰余金	-2,290,823
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,352,450
負債・資本合計	18,362,780
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	517,604	381,000
資本勘定繰入	184,636	-
計	702,240	381,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	929.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		平塚市			
病院名		平塚市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,719 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	410	74.0	75.9	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	72.9	74.8	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.1	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	258,422	
決算規模(千円)	101,950,925	
標準財政規模(千円)	51,783,439	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	25.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,327,746			
1 経常収益	17,146,106			
(1) 医業収益	12,483,642			
(うち修正医業収益)	12,006,778			
入院収益	8,512,322			
外来収益	3,257,696			
診療収入計	11,770,018			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	713,624			
(うち他会計負担金)	476,864			
(2) 医業外収益	4,662,464			
(うち国・都道府県補助金)	3,045,196			
(うち他会計補助・負担金)	996,813			
(うち長期前受金戻入)	387,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	181,640			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,938,599			
2 経常費用	14,530,803			
(1) 医業費用	13,891,226			
職員給与費	7,712,501	61.8	60.2	57.5
材料費	2,894,600	23.2	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,473,652	11.8	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,420,948	11.4	11.6	12.6
減価償却費	1,029,521	8.2	9.0	8.1
経費	2,219,138	17.8	22.5	19.1
(うち委託料)	1,549,528	12.4	12.5	10.0
研究研修費	26,604			
資産減耗費	8,862			
(2) 医業外費用	639,577			
(うち支払利息)	81,302	0.7	1.2	1.1
(3) 特別損失	407,796			
損益	2,615,303			
純損益	2,389,147			
累積欠損金	876,473			
経常収支比率	118.0		105.6	105.7
医業収支比率	89.9		85.1	88.4
修正医業収支比率	86.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	107.9		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,926,716
1 固定資産	16,599,508
(1) 有形固定資産	15,298,568
(2) 無形固定資産	265,796
(3) 投資その他の資産	1,035,144
2 流動資産	9,327,208
(1) 現金及び預金	4,322,995
(2) 未収金及び未収収益	5,021,538
(3) 貸倒引当金()	88,214
(4) 貯蔵品	52,633
3 繰延資産	-
負債合計	20,402,166
1 固定負債	16,376,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,647,297
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,500,000
(6) 引当金	2,129,105
(7) 一時的借入金	99,970
2 流動負債	2,703,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,189,162
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	458,339
(6) リース債務	132,180
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	888,620
(9) 前受金及び前受収益	575
3 繰延収益	1,321,935
(1) 長期前受金	3,664,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,342,197
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,524,550
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-675,042
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-675,042
負債・資本合計	25,926,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,473,677	1,473,677
資本勘定繰入	278,171	267,134
計	1,751,848	1,740,811

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		藤沢市			
病院名		藤沢市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,595 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	530	78.2	76.3	88.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	45.4	54.6	10.0
計	536	77.8	76.0	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.3	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	436,905	
決算規模(千円)	177,139,296	
標準財政規模(千円)	85,077,898	
財政力指数	1.06	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	51.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,826,999			
1 経常収益	22,813,142			
(1) 医業収益	19,034,726			
(うち修正医業収益)	18,565,804			
入院収益	12,357,004			
外来収益	5,831,301			
診療収入計	18,188,305			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	846,421			
(うち他会計負担金)	468,922			
(2) 医業外収益	3,778,416			
(うち国・都道府県補助金)	2,379,647			
(うち他会計補助・負担金)	1,024,570			
(うち長期前受金戻入)	191,029			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,857			
(うち他会計繰入金)	13,857			
総費用	21,741,804			
2 経常費用	21,458,576			
(1) 医業費用	20,444,111			
職員給与費	10,224,366	53.7	60.2	54.0
材料費	5,202,507	27.3	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,526,961	13.3	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,552,888	13.4	11.6	13.4
減価償却費	1,551,370	8.2	9.0	8.1
経費	3,413,954	17.9	22.5	19.6
(うち委託料)	2,368,565	12.4	12.5	12.7
研究研修費	34,722			
資産減耗費	17,192			
(2) 医業外費用	1,014,465			
(うち支払利息)	93,565	0.5	1.2	1.0
(3) 特別損失	283,228			
損益	1,354,566			
純損益	1,085,195			
累積欠損金	3,552,443			
経常収支比率	106.3		105.6	105.8
医業収支比率	93.1		85.1	89.1
修正医業収支比率	90.8		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	6.6		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	99.4		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,320,923
1 固定資産	14,452,670
(1) 有形固定資産	13,392,545
(2) 無形固定資産	646,184
(3) 投資その他の資産	413,941
2 流動資産	9,868,253
(1) 現金及び預金	5,556,181
(2) 未収金及び未収収益	4,293,977
(3) 貸倒引当金()	21,050
(4) 貯蔵品	39,145
3 繰延資産	-
負債合計	18,241,469
1 固定負債	14,256,642
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,804,069
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,117,747
(7) 一ス債務	334,826
2 流動負債	3,152,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	595,881
(6) リ一ス債務	227,186
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,570,870
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	831,969
(1) 長期前受金	1,506,392
(2) 長期前受金収益化累計額()	674,423
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,079,454
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-3,496,436
(1) 資本剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-3,552,443
負債・資本合計	24,320,923
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,563,253	1,507,349
資本勘定繰入	131,097	131,097
計	1,694,350	1,638,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	小田原市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	417	80.9	68.7	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	80.9	68.7	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.9	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	188,856	
決算規模(千円)	79,076,301	
標準財政規模(千円)	40,438,534	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	30.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,381,337			
1 経常収益	17,364,099			
(1) 医業収益	12,833,886			
(うち修正医業収益)	12,617,891			
入院収益	9,424,343			
外来収益	3,100,634			
診療収入計	12,524,977			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	308,909			
(うち他会計負担金)	215,995			
(2) 医業外収益	4,530,213			
(うち国・都道府県補助金)	3,201,874			
(うち他会計補助・負担金)	1,184,005			
(うち長期前受金戻入)	47,501			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,238			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,367,608			
2 経常費用	13,868,595			
(1) 医業費用	13,281,278			
職員給与費	7,386,051	57.6	60.2	57.5
材料費	3,113,590	24.3	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,252,109	9.8	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,775,858	13.8	11.6	12.6
減価償却費	780,578	6.1	9.0	8.1
経費	1,944,334	15.2	22.5	19.1
(うち委託料)	1,272,500	9.9	12.5	10.0
研究研修費	15,735			
資産減耗費	40,990			
(2) 医業外費用	587,317			
(うち支払利息)	13,608	0.1	1.2	1.1
(3) 特別損失	1,499,013			
損益	3,495,504			
純損益	2,013,729			
累積欠損金	-			
経常収支比率	125.2		105.6	105.7
医業収支比率	96.6		85.1	88.4
修正医業収支比率	95.0		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	115.1		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,103,923
1 固定資産	5,473,960
(1) 有形固定資産	5,248,868
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	225,092
2 流動資産	12,629,963
(1) 現金及び預金	8,121,545
(2) 未収金及び未収収益	4,488,736
(3) 貸倒引当金()	14,000
(4) 貯蔵品	33,682
3 繰延資産	-
負債合計	6,459,166
1 固定負債	3,690,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	431,613
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,691,393
(7) 一ス債務	567,823
2 流動負債	2,259,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	428,472
(6) リ一ス債務	210,431
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,442,525
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	509,074
(1) 長期前受金	960,176
(2) 長期前受金収益化累計額()	451,102
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,644,757
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	6,772,094
(1) 資本金剰余金	199,325
(2) 利益剰余金	6,572,769
負債・資本合計	18,103,923
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,552,098	1,400,000
資本勘定繰入	617,528	-
計	2,169,626	1,400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	茅ヶ崎市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,878 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	401	66.1	64.4	75.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	66.1	64.4	75.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	10.9	10.8

設立団体の状況	
人口(人)	242,389
決算規模(千円)	83,312,389
標準財政規模(千円)	45,715,868
財政力指数	0.94
経常収支比率(%)	95.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	1.9
将来負担比率(%)	33.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,396,602			
1 経常収益	13,370,511			
(1) 医業収益	10,337,987			
(うち修正医業収益)	9,994,072			
入院収益	6,181,436			
外来収益	3,484,734			
診療収入計	9,666,170			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	671,817			
(うち他会計負担金)	343,915			
(2) 医業外収益	3,032,524			
(うち国・都道府県補助金)	2,034,845			
(うち他会計補助・負担金)	703,207			
(うち長期前受金戻入)	234,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,091			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,366,199			
2 経常費用	12,323,136			
(1) 医業費用	11,731,202			
職員給与費	6,373,549	61.7	60.2	57.5
材料費	2,614,626	25.3	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,453,412	14.1	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,102,080	10.7	11.6	12.6
減価償却費	772,316	7.5	9.0	8.1
経費	1,940,953	18.8	22.5	19.1
(うち委託料)	1,283,818	12.4	12.5	10.0
研究研修費	24,231			
資産減耗費	5,527			
(2) 医業外費用	591,934			
(うち支払利息)	109,953	1.1	1.2	1.1
(3) 特別損失	43,063			
損益				
経常収支比率	108.5		105.6	105.7
医業収支比率	88.1		85.1	88.4
修正医業収支比率	85.2		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,845,010
1 固定資産	9,518,592
(1) 有形固定資産	9,324,153
(2) 無形固定資産	51,753
(3) 投資その他の資産	142,686
2 流動資産	5,326,418
(1) 現金及び預金	3,719,127
(2) 未収金及び未収収益	1,550,370
(3) 貸倒引当金()	81,004
(4) 貯蔵品	137,925
3 繰延資産	-
負債合計	12,180,128
1 固定負債	9,187,947
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,426,460
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,695,247
(7) 一時的借入金	66,240
2 流動負債	1,976,195
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	806,605
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	414,027
(6) リース債務	24,162
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	687,221
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,015,986
(1) 長期前受金	6,834,353
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,818,367
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,664,882
1 資本金	5,383,111
2 剰余金	-2,718,229
(1) 資本剰余金	1,779,429
(2) 利益剰余金	-4,497,658
負債・資本合計	14,845,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,047,122	1,047,122
資本勘定繰入	479,677	479,677
計	1,526,799	1,526,799

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		三浦市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	136	82.6	85.8	92.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	82.6	85.8	92.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	17.9	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	42,069	
決算規模(千円)	19,119,817	
標準財政規模(千円)	10,661,615	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	96.9

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,684,286				
1 経常収益	2,681,755				
(1) 医業収益	2,406,460				
(うち修正医業収益)	2,229,568				
入院収益	1,472,807				
外来収益	610,992				
診療収入計	2,083,799				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	322,661				
(うち他会計負担金)	176,892				
(2) 医業外収益	275,295				
(うち国・都道府県補助金)	160,771				
(うち他会計補助・負担金)	79,634				
(うち長期前受金戻入)	7,362				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,531				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,631,978				
2 経常費用	2,627,287				
(1) 医業費用	2,504,826				
職員給与費	1,597,857	66.4	60.2	66.7	
材料費	260,688	10.8	25.3	17.8	
(うち薬品費)	78,846	3.3	13.3	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	181,105	7.5	11.6	9.2	
減価償却費	149,887	6.2	9.0	10.4	
経費	490,707	20.4	22.5	28.7	
(うち委託料)	315,779	13.1	12.5	13.3	
研究研修費	4,263				
資産減耗費	1,424				
(2) 医業外費用	122,461				
(うち支払利息)	34,754	1.4	1.2	1.3	
(3) 特別損失	4,691				
損益	54,468				
純損益	52,308				
累積欠損金	835,300				
経常収支比率	102.1		105.6	105.7	
医業収支比率	96.1		85.1	80.6	
修正医業収支比率	89.0		82.2	76.5	
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		11.3	14.8	
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		14.9	20.6	
他会計繰入金対総収益比率	9.6		11.2	14.9	
実質収益対経常費用比率	92.3		93.6	90.0	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,010,245
1 固定資産	2,454,860
(1) 有形固定資産	2,438,918
(2) 無形固定資産	442
(3) 投資その他の資産	15,500
2 流動資産	1,555,385
(1) 現金及び預金	858,155
(2) 未収金及び未収収益	695,857
(3) 貸倒引当金()	11,243
(4) 貯蔵品	9,875
3 繰延資産	-
負債合計	2,668,120
1 固定負債	1,941,289
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,708,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	232,438
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	619,614
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,491
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	110,809
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	280,315
(9) 前受金及び前受収益	10,099
3 繰延収益	107,217
(1) 長期前受金	311,520
(2) 長期前受金収益化累計額()	204,303
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,342,125
1 資本金	2,177,425
2 剰余金	-835,300
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-835,300
負債・資本合計	4,010,245
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,526	256,526
資本勘定繰入	128,198	131,597
計	384,724	388,123

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		厚木市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	341	67.1	62.7	73.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	58.3	54.1	7.9
計	347	66.9	62.6	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.3	9.7

設立団体の状況		
人口(人)	223,705	
決算規模(千円)	98,719,102	
標準財政規模(千円)	48,787,236	
財政力指数	1.20	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.7
	将来負担比率(%)	42.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,231,564			
1 経常収益	13,195,056			
(1) 医業収益	9,331,774			
(うち修正医業収益)	8,628,594			
入院収益	5,774,126			
外来収益	2,652,346			
診療収入計	8,426,472			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	905,302			
(うち他会計負担金)	703,180			
(2) 医業外収益	3,863,282			
(うち国・都道府県補助金)	2,861,322			
(うち他会計補助・負担金)	469,579			
(うち長期前受金戻入)	457,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	36,508			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,109,002			
2 経常費用	11,061,825			
(1) 医業費用	10,540,179			
職員給与費	5,666,206	60.7	60.2	60.7
材料費	2,118,632	22.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	993,113	10.6	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,123,733	12.0	11.6	11.7
減価償却費	1,004,228	10.8	9.0	9.2
経費	1,735,882	18.6	22.5	21.2
(うち委託料)	1,200,183	12.9	12.5	11.9
研究研修費	10,674			
資産減耗費	4,557			
(2) 医業外費用	521,646			
(うち支払利息)	99,278	1.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	47,177			
損益	2,133,231			
純損益	2,122,562			
累積欠損金	4,457,343			
経常収支比率	119.3		105.6	106.9
医業収支比率	88.5		85.1	85.8
修正医業収支比率	81.9		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	108.7		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,254,573
1 固定資産	16,898,166
(1) 有形固定資産	15,622,574
(2) 無形固定資産	7,991
(3) 投資その他の資産	1,267,601
2 流動資産	6,356,407
(1) 現金及び預金	4,057,238
(2) 未収金及び未収収益	2,222,990
(3) 貸倒引当金()	1,816
(4) 貯蔵品	77,995
3 繰延資産	-
負債合計	20,690,775
1 固定負債	17,406,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,257,964
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,180,800
(6) 引当金	809,342
(7) 一 負債	158,808
2 流動負債	2,091,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	760,454
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	33,333
(5) 引当金	371,148
(6) リ 一 負債	41,292
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	869,361
(9) 前受金及び前受収益	2,200
3 繰延収益	1,192,560
(1) 長期前受金	3,792,730
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,600,170
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,563,798
1 資本金	4,034,683
2 剰余金	-1,470,885
(1) 資本金剰余金	2,924,458
(2) 利益剰余金	-4,395,343
負債・資本合計	23,254,573
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,152,231	1,172,759
資本勘定繰入	401,161	515,447
計	1,553,392	1,688,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		大和市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	403	59.9	61.1	75.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	59.9	61.1	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.5	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	239,169	
決算規模(千円)	88,122,184	
標準財政規模(千円)	45,487,520	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	34.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,129,364			
1 経常収益	13,128,028			
(1) 医業収益	9,532,809			
(うち修正医業収益)	9,295,646			
入院収益	5,746,948			
外来収益	3,278,244			
診療収入計	9,025,192			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	507,617			
(うち他会計負担金)	237,163			
(2) 医業外収益	3,595,219			
(うち国・都道府県補助金)	2,035,927			
(うち他会計補助・負担金)	1,121,220			
(うち長期前受金戻入)	352,470			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,336			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,183,914			
2 経常費用	12,096,959			
(1) 医業費用	11,530,482			
職員給与費	6,371,107	66.8	60.2	57.5
材料費	2,491,351	26.1	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,235,671	13.0	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,186,508	12.4	11.6	12.6
減価償却費	779,276	8.2	9.0	8.1
経費	1,872,265	19.6	22.5	19.1
(うち委託料)	1,187,243	12.5	12.5	10.0
研究研修費	12,802			
資産減耗費	3,681			
(2) 医業外費用	566,477			
(うち支払利息)	51,530	0.5	1.2	1.1
(3) 特別損失	86,955			
損益	1,031,069			
純損益	945,450			
累積欠損金	7,042,332			
経常収支比率	108.5		105.6	105.7
医業収支比率	82.7		85.1	88.4
修正医業収支比率	80.6		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	97.3		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,762,714
1 固定資産	7,437,850
(1) 有形固定資産	6,838,619
(2) 無形固定資産	351,855
(3) 投資その他の資産	247,376
2 流動資産	3,324,864
(1) 現金及び預金	830,463
(2) 未収金及び未収収益	2,449,855
(3) 貸倒引当金()	8,227
(4) 貯蔵品	52,769
3 繰延資産	-
負債合計	9,196,226
1 固定負債	4,823,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,546,401
(2) その他の企業債	765,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	1,511,524
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,352,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,039,788
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	430,677
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,066
(9) 前受金及び前受収益	380
3 繰延収益	2,020,472
(1) 長期前受金	6,762,599
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,742,127
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,566,488
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-2,269,706
(1) 資本金剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-7,042,332
負債・資本合計	10,762,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,416,841	1,358,383
資本勘定繰入	634,677	400,000
計	2,051,518	1,758,383

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。